



江戸のメディア王「葛重」

葛屋重三郎

吉原再見、黄表紙、浮世絵…江戸出版界に残した軌跡

講師：関一成（江戸文化歴史検定Ⅰ級合格者）

第一回 12月6日
葛重と江戸の出版界

第二回 12月20日
葛重が売り出した才能

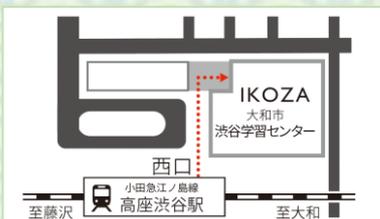
第三回 1月17日
葛重のいた時代

すべて金曜日 14:00～16:00 各講座の内容は裏面をご参照ください。

会場：大和市渋谷学習センター 2階 多目的ホール
定員：先着40名
対象：どなたでも（大和市内在住・在勤・在学優先）
受講料：各回1,000円（全3回通しで申し込むと2,500円）
申込：11月8日（金）10時から受付開始 お電話または渋谷学習センター窓口へ

☎ 046-267-2027

市外の方は、お席に空きがある場合、11月15日（金）10時からお申込みいただけます。
右のQR、お電話または渋谷学習センター窓口へ。



大和市渋谷学習センター

〒242-0023 大和市渋谷5-22 IKOZA 3階／お申込・お問合せ 046-267-2027

小田急江ノ島線・高座渋谷駅西口から徒歩2分

◆天候や交通機関の運行状況及びその他やむを得ない事情により開催中止となる場合があります。
◆渋谷学習センターの専用駐車場はございません。公共交通機関でのご来場をお願いいたします。
（大和市渋谷学習センター等があるIKOZAビルの駐車場は有料です）

講座の概要

江戸時代、日本の識字率の高さは60%に達していました。それを背景に大きく花開いたのが出版文化です。蔦屋重三郎は江戸出版界に風雲児のように現れ、新機軸を打ち出し、多くの才能を発掘してゆきました。

ライバルの本屋が多い中で蔦重はどのようにプロデュースし、成功を収めていったのか。江戸経済が転換期を迎えた時代背景も交えつつ、愉しくわかりやすくお話しします。来年の大河ドラマの予習にもぜひどうぞ。

第一回 蔦重と江戸の出版界

蔦重が生まれ育った吉原とはどんな所？地本問屋とはどんな本を出したのか？等々、重三郎の生涯を追うと共に、彼が身を置いた江戸のメディア出版界にスポットを当てます。

第二回 蔦重が売り出した才能

蔦重が発掘した才能のうち、文芸を代表して黄表紙作者の山東京伝、浮世絵を代表して美人画絵師の喜多川歌麿を中心に引き上げ、蔦重がどのようにして彼等を大ヒット作家に売り出していったのかを見てゆきます。

第三回 蔦重のいた時代

蔦重が生きた時代は幕藩社会の経済が転換期を迎え、商業経済を推し進めた田沼意次の時代と、その反動から生まれた松平定信の寛政の改革の時代でした。二つの時代が蔦重に与えた影響を考えます。

「寛政三美人」歌麿画

【講師プロフィール】

関 一成（せきいっせい）

新選組のふるさと多摩に住み、幕末史と歌舞伎、歌川国芳描く猫の浮世絵をこよなく愛する元漫画家。講義は江戸時代全般について、愉しく、わかりやすくがモットー。江戸文化歴史検定1級。歌舞伎検定2級。